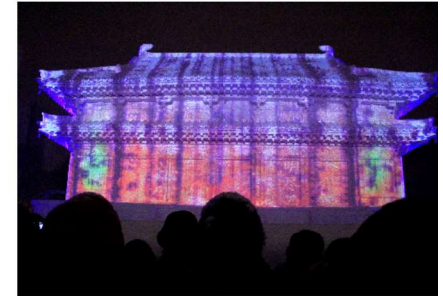


では、解体は？

豪快にパワーショベルで破壊します。大きな雪像なので解体しているところも醍醐味で、解体作業を見るツアーもあるほどです。今年の札幌雪祭り観客数は約254万3千人です、海外からも沢山の人が見えました。私は初日の2月5日、雪のちらつく-3℃のなか感動の雪祭りを観賞してきました。台湾の皆様、是非北海道のパウダースノーのやさしい雪とお祭りを味わってください。

世界三大雪祭りとしては札幌雪祭り(日本) ケツペク、ウインター、カーニヴァル(カナダ) ハルビン氷祭(中国)があります。



<スキーだより> 高橋幹夫

日本には多くのスキー場がありシーズン(12月~3月)になると殆どの新聞には「雪たより」なる日本各地の100近いスキー場の積雪情報が毎日掲載されます。積雪は多いところでは3メートルを越す地域も有ります。特に人気のある地域は北海道で、広大なスキー場が多く雪質も粉雪で人気があります。

ゲレンデのリフトは昔と違い速度も速く又寒さ対策でフードがついたリフトもふえ快適なスキーを楽しむ事が出来ます。

日本のスキー場には温泉があるスキー場も多く蔵王温泉(山形県)、野沢温泉(長野県)などは良質な温泉とスキー場がありこちらも多くのスキー客、スノーボード客が訪れます。スキーから宿に帰ったあとは宿の温泉で疲れを癒すのも楽しみの一つです。

蔵王温泉はスキー客だけでなく観光客も多く、その目的は「樹氷」です。樹木を雪が覆い、あたたかもモンスターの様な景色は圧巻です。(写真参照)最近のスキー場はどこも外国人スキー客が多く台湾、中国の方が非常に多くなりました、その為多くのホテルは中国語対応のスタッフを置いています。スキー場にはスキーを楽しむ人とスノーボードを楽しむ人がいますが若者にはスノーボードが人気の様です。



定年退職して夫婦でスキーを楽しむシニア世代も多くみられます。各スキー場にはレンタル用品が完備されスキー、靴は勿論スキーウェアなどもあり非常にに便利になっています。

台北から北海道にはチャーター便も多く飛んでいますが東北地方の小さな花巻空港(岩手県)にも台北からのチャーター便があり台湾のスキー客が多く訪れています。。

